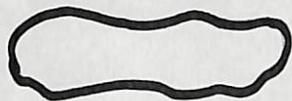
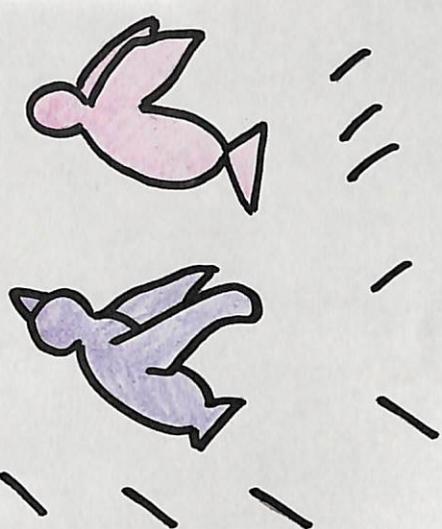
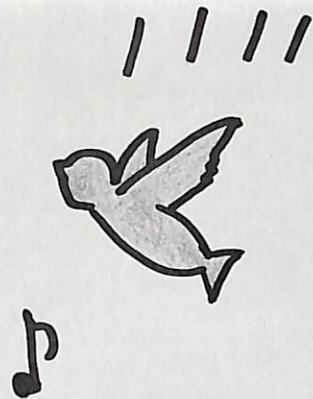
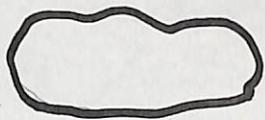
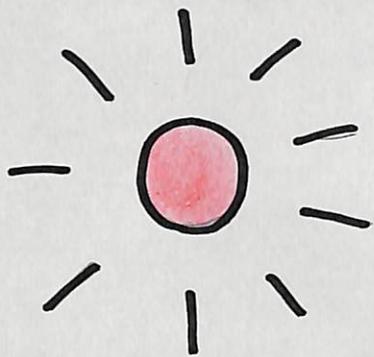


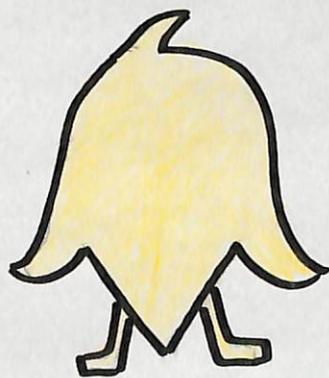
ピースケのゆめ

132H011  
井上尚也



ピースケのゆめは  
そらをとぶこと

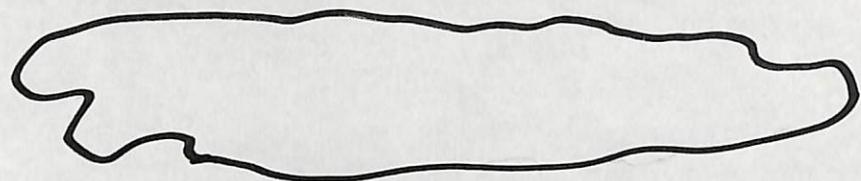
「ぼくもいつかそ  
らをとびたいな。  
でも、こんな高い  
さなつばさではない  
とべないよ。」



「やっぱり  
ここあいい  
だめだあ」

「.....」

「かけのうえ  
からなら  
とべるかなあ」



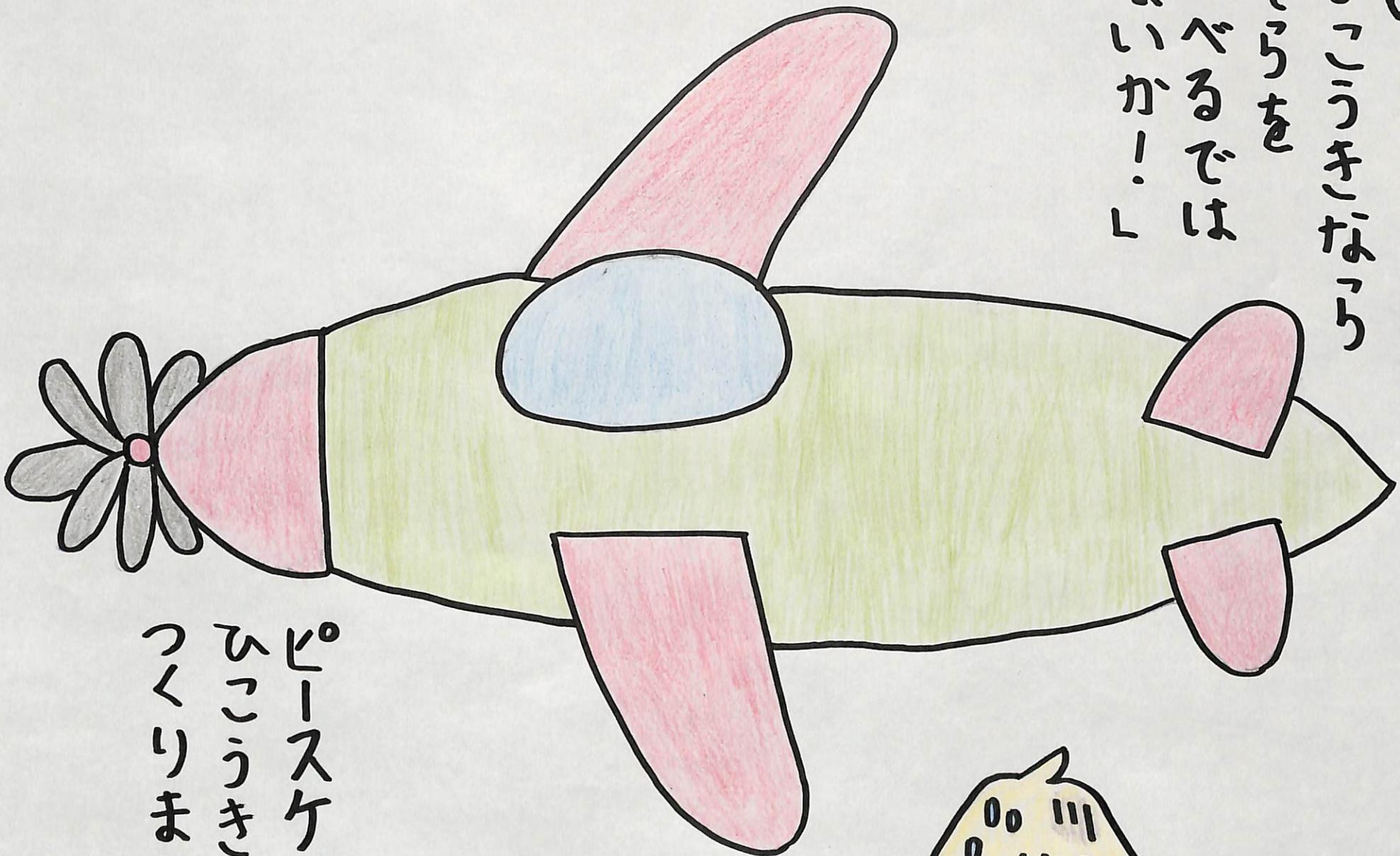


「つばさを  
おおきくしたら  
とべるはずだー」

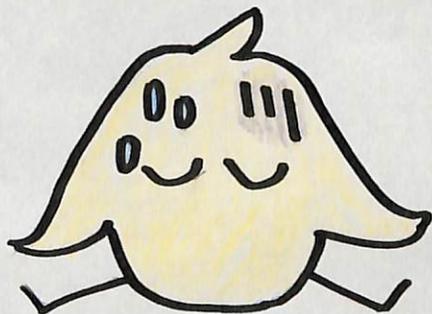
パタパタ  
パタパタ  
パタッ

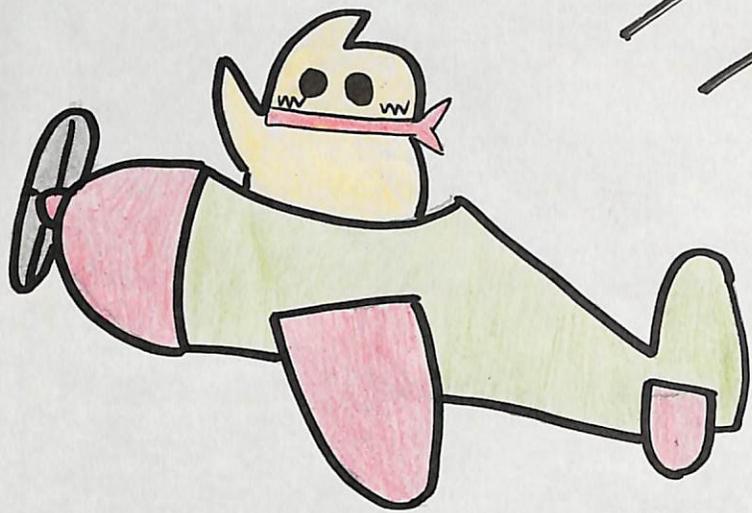
「やっぱり  
とべない  
だめだあ」

「あー！  
ひこうきなら  
そらをと  
とべるでは  
ないか！」



ピースケは  
ひこうきを  
つくりました。





いまもきつと  
どこかのそらを  
どびまわって  
いとびのでしよう

ピースケは  
ゆめを  
かなえました

あ、  
あり

